

公益社団法人 日本青年会議所 2021年度 四国地区

四国地区担当常任理事 丹生 兼嗣

<p>現 状 分 析</p>	<p>四国では南海トラフ地震の影響が甚大で県をまたぎ広域的にサポートができるネットワークを構築し、有事の際には早急に災害復旧を可能とする体制を整えることが、安心な四国の創造につながります。また、経済規模が小さく利便性に恵まれていない四国において、質的価値の高い地域資源をブランド化し、独自の魅力を発信することで地域と産業の活性化につなげまいります。そして、会員数の減少が顕著である四国地区において、コロナ禍の現状において有効的に機能する拡大手法を模索実施することにより会員減少に歯止めをかけます。</p>
<p>連 携 概 要</p>	<p>■スポーツを通じた地域を輝かせる人財の育成の実施 スポーツを通じ地域を輝かせる人財へと導くため、地区内各ブロックより1チームが出場するJ CカップU-11少年少女サッカー全国大会予選大会を開催することで、グッドルーザーの精神を育むとともに、優勝者を全国大会へと推薦します。 K P I：各県1チーム出場</p>
	<p>■災害プラットフォームの構築の実施 四国は南海トラフ地震の影響が大きく、関係諸団体と連携し発災時の対応を強化するため、各ブロックとの連携を密にし、関係諸団体とともに4県すべてにおいて発災時の対応訓練を実施することで、災害ネットワークの強化を行います。 K P I：各県にて対応訓練1回以上実施</p>
	<p>■地域や次世代による質的価値の創造 四国には質的価値の高い文化、食文化や企業が多く存在し、それら資源を持続的に活かしていくために、四国地区協議会がプラットフォームとなり行政や地元企業とともに、地域ブランド化を促進することで、地域の自立性を高めます。 K P I：各4県で1ブランドの確立</p>
<p>独自の事業概要</p>	<p>■SDGsを通じたビジネスによる地域創造 SDGsを通じたビジネスによる地域創造を目指すため、四国4県の取り組み事例を発掘、共有し四国地区独自の18番目のゴールを次代を担う若者とともに策定し、企業やLOMへ幅広く発信することで、SDGs達成への機運を高めてまいります。 K P I：18番目のゴールの策定</p>
	<p>■LOMブロックへの拡大支援 四国地区内の会員減少に歯止めを掛けるために、ブロック協議会との連携を密にし、コロナ禍の現状においてどのような拡大手法が必要か調査と研究を実施し、LOMブロックへ拡大手法を提案することで、会員拡大へとつなげてまいります。 K P I：4ブロック協議会への提言</p>
	<p>■理事長サミットの事業 四国地区内27LOMが一丸となってJC運動を邁進していくことを可能とするために、地区内27LOMの理事長が一同に会し、理事長サミットを開催することで、各地の現状や問題点を共有し、横のつながりの強化へとつなげてまいります。 K P I：理事長サミットを3回開催</p>
<p>独自の事業概要</p>	<p>■WEBを活用した会議及び事業の運営システム構築の事業 コロナ禍での会議や事業の運営を効率的に実施できる運営システムを構築するために、今まで以上に効率的で質の高いWEB会議を実施し検証した上で、四国地区内27LOMへ提唱することで、WEB会議の有効性の向上を図ります。 K P I：運営システムを27LOMへ提供</p>
	<p>■ホームページの拡充と四国地区版J Cニュースの作成発信事業 四国地区内の事業を広く伝播していくため、ホームページを強化するとともに四国地区内の現状や事業をまとめた四国地区版のJ Cニュースを作成しメンバーに配布することで、地区内の状況を共有し、参画意識の向上を図ります。 K P I：四国地区版J Cニュース3回発行</p>
<p>パ ー ト ナ ー</p>	<p>各行政機関（成果発信）、各県社会福祉協議会（実施支援）、各大学（政策協力） 各民間企業（成果発信）、四国地区内スポーツ関係団体（実施支援）</p>